



株主の皆様へ

第79期 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで



豊田紡織株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、当社第79期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

全体の概況

当期の自動車業界におきましては、国内販売は、小型乗用車・小型貨物車が前年を下回りましたが、新型車投入による普通乗用車の増加に加え、ディーゼル排ガス規制による普通貨物車・バスの代替需要があり、全体では前年並みとなりました。輸出は、好調であった米国向けが落ちましたが、欧州向けが増加し、前年並みとなりました。

このような情勢の中で、当社は、かねてより自動車用内装システムサプライヤーとして、研究開発・生産技術力の強化とともに事業拡大を進めており、当期は、RAV4、タント、クラウンが生産開始になりました。現在は、IMVなど海外生産車を含め24車型を受託し開発を推進しております。自動車用フィルター総合メーカーとしては、オートマチック・トランスミッション用フィルターをはじめ、除塵脱臭機能を強化したキャビンエアフィルターやガソリン蒸気を吸着するフィルターなどの開発と生産に注力しております。

また、リサイクル性の高い天然繊維(サイザル繊維)を使用した成形天井や環境負荷量を半減したオイルフィルターの開発、国内全工場でのゼロエミッション達成など環境に配慮した取り組みを進めております。

海外におきましては、昨年4月に、米国に、成形天井の生産会社トヨタがウマニュファクチャリングケンタッキーLLCを、中国に合併で、内外装部品の生産会社天津英泰汽車飾件有限公司をそれぞれ設立し、グローバルにお客様の要請に応えられるよう生産拠点の拡充を推進しております。

また、当社とアラコ株式会社及びタカニチ株式会社は、昨年10月に、本年10月1日を自途に合併する旨の合併基本合意を締結いたしました。

業績

当期の単独決算につきましては、売上高は、自動車関連が、内装システム製品やエアフィルター、エアバッグ用袋体などの増産増収により、前期に比べ11,559百万円(12.5%)増加の103,990百万円となりました。繊維関連は、ほぼ前期並みの910百万円となりました。売上高合計では、前期に比べ11,587百万円(12.4%)増加の104,901百万円となりました。経常利益は、製品構成・製品価格変動等の影響や労務費の増加などの減益要因はありましたが、増産増収の影響、社内合理化と原価改善などにより、前期に比べ690百万円(16.2%)増加の4,959百万円となりました。また、当期純利益は、前期に特別利益に計上した厚生年金基金代行部分返上

益などがなくなり20百万円(0.7%)微増の2,865百万円となりました。連結決算では、売上高は、前期に比べ11,232百万円(10.5%)増加の118,553百万円となりました。利益につきましては、北米子会社での減収や新規海外子会社の固定費負担などがありまして、経常利益は、前期に比べ308百万円(6.2%)増加の5,314百万円、当期純利益は、前期に比べ163百万円(5.4%)減少の2,839百万円となりました。

配当金

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき4円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましては、1株につき5円とし、年間としては前期に比べ1円増加の1株につき9円とさせていただきます。

今後の見通しと取り組み

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復傾向が見られますものの、その牽引役となっている中国・米国の海外景気の不透明感や為替動向・国際紛争などのリスク要因により、依然として予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような中で、当社は、お客様の信頼と満足が得られる製品づくりに努力するとともに、経営管理体制の整備・充実、国際競争力をそなえた世界No.1の技術・商品の提供、現地生産・調達体制の整備、原価低減活動の推進、環境・安全・品質を最優先にした「モノづくり」など、収益体質の強化を重点とした諸施策に積極的に取り組んでまいります。

更に、本年10月の合併によりまして、開発力の強化と海外展開を一段と加速させ、新技術・新商品を世界に提供できる自動車部品新会社として、世界トップレベルのグローバル総合内装システムサプライヤーおよびフィルター総合メーカーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



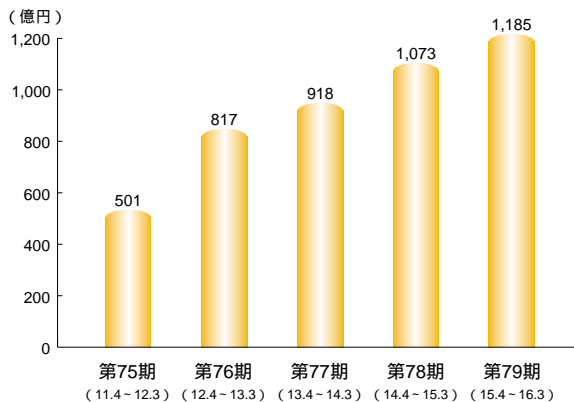
取締役社長

好川 純一

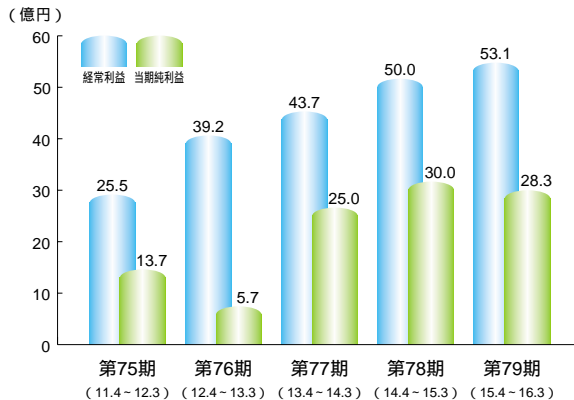
業績の概況

連結決算

1. 連結売上高の推移



2. 連結利益の推移

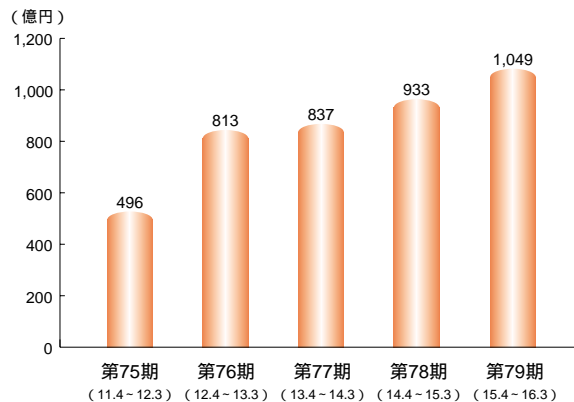


3. 連結子会社および関連会社

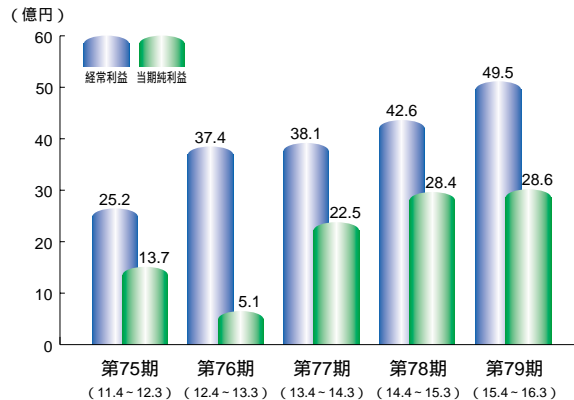
日本	子会社	4社	関連会社	2社
米国	子会社	4社	関連会社	1社
タイ国	子会社	3社	関連会社	1社
中国	子会社	1社	関連会社	1社

単独決算

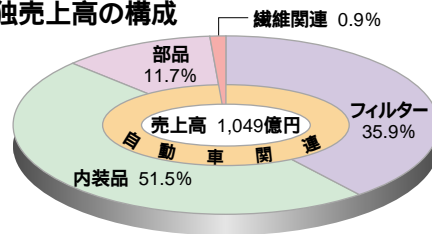
1. 単独売上高の推移



2. 単独利益の推移



3. 単独売上高の構成



当社の内装技術を採用した内装システム製品が3車型に搭載

車1台分の内装(シート・インパネを除く)を一括してシステム発注を受け開発・生産を行う内装システムサプライヤーとして、研究開発・生産技術力強化とともに事業拡大を進めており、当期はRAV4、タント、クラウンの3車型が生産開始になりました。

新型「クラウン」に搭載している内装システム製品



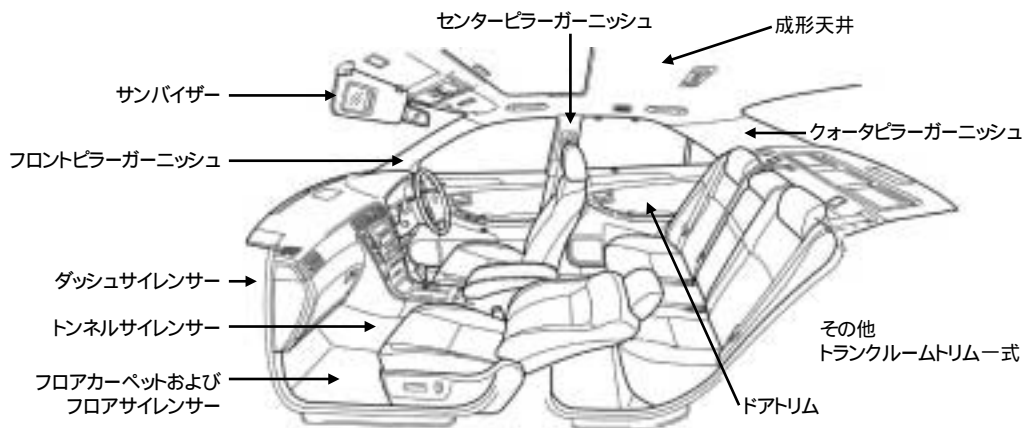
トヨタ「RAV4」



ダイハツ「タント」



トヨタ「クラウン」



出典:トヨタ自動車「新型車解説書」

世界初 環境にやさしい 天然繊維を使用した 成形天井を開発、生産

リサイクルしやすい天然繊維(サイザル繊維)を使用した成形天井を、世界で初めて開発し、生産を開始しました。残りカスを残さず完全焼却でき、従来より軽量化を実現しました。新型「クラウン」に搭載されています。



左:成形天井製品

下:サイザル



新型花粉除去フィルターを開発、完成

カーエアコンの風量を確認しながら、除塵性能を高めた花粉対策のカーエアコン用フィルター「クリーンエアフィルター花粉除去タイプ」を開発・完成させました。代表的な花粉をほぼ100%除去できる業界トップクラスの能力を備えています。本年2月より、本社・刈谷工場で生産を開始しています。



クリーンエアフィルター
(キャビンエアフィルター)

搭載例

第37回東京モーターショーに出展

昨年10月から11月にかけて開催された第37回東京モーターショーに当社のブースを設け、自動車部品メーカーとして国内外へアピールしました。



当社で生産する全ての自動車部品・材料で「QS-9000」認証を取得

昨年7月、当社で生産する全ての自動車部品・材料について米国ビッグ3の品質システム規格「QS-9000」認証を取得しました。



国内全工場でゼロエミッション達成

国内全8工場において、ゼロエミッション(埋立廃棄物の平成9年度比95%減)を達成しました。廃プラを高炉の還元剤やセメント原料に活用したり、廃水処理の過程で生じる汚泥を肥料にしたりするなどのリサイクルを進めています。

女子バスケットボール部日本リーグ(W1)昇格決定

平成15年度 全日本実業団連盟バスケットボール選手権大会における結果により、当社女子バスケットボール部は平成16年度より日本リーグ(W1リーグ)へ昇格となりました。



岩手県に外装部品生産子会社を設立

昨年4月、岩手県に自動車用外装部品生産子会社「株式会社TB岩手」を設立しました。フェンダーライナー、エンジンアンダーカバーの生産と得意先へのタイムリーな供給を行っています。

竣工式



北米に成形天井生産子会社を設立

昨年4月、米国ケンタッキー州に、自動車用成形天井の生産子会社「トヨタボウマニュファクチャリングケンタッキーLLC.」を設立しました。米国における自動車用内装材の技術力・生産力強化をめざします。



中国に内外装部品生産拠点を設立

昨年4月、中国天津市にアラコ株式会社、タカニチ株式会社、現地企業との合弁で、自動車内外装部品生産会社「天津英泰汽車飾件有限公司」を設立しました。中国におけるお客様の要請に応えられるよう、高品質な製品を生産・供給します。

完成予想図



中国子会社で「QS-9000」認証取得

本年3月、上海豊田紡汽車部件有限公司が、同社の全製品(ストラップ、シートベルトウェビング、ラゲージネット、用品マット)について、「QS-9000」認証を取得しました。



アラコ株式会社、タカニチ株式会社と3社合併基本合意書に調印

当社とアラコ株式会社およびタカニチ株式会社は、昨年10月3日に合併基本合意を締結しました。

3社の合併により、シート・ドアトリム・天井・カーペットなど内装全体が事業領域となり、個々の技術の高度化に加え、自動車の室内全体を見据えた開発・提案が可能となります。また、各社のノウハウを結集し、リソースを総合的・効率的に活用することにより、開発力強化とグローバル化への対応を一段と加速、展開していくことが可能となります。

なお、本年5月10日に合併契約を締結し、本年10月1日の合併に向けて準備を進めております。新会社名は「トヨタ紡織株式会社」となります。



世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーへ

1. 快適な車室空間の提供
2. 世界トップの自動車用フィルターの提供
3. グローバルな供給体制の構築

内装システムサプライヤーの変化

豊田紡織



内装システム

アラコ
シートシステム



ドアトリム

タカニチ
シートシステム



ドアトリム

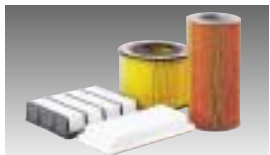
新会社
グローバル総合内装システム
サプライヤー



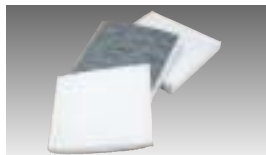
主な製品紹介

自動車関連

フィルター



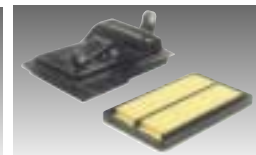
エアフィルター



キャブエアフィルター



オイルフィルター



オートマチック・トランスミッション用フィルター

内装品



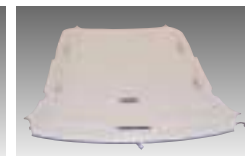
シートファブリック



ストラップ/シートベルトウェビング



フロアカーベット



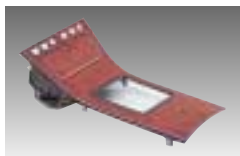
成形天井



用品マット



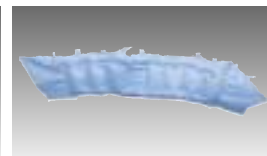
サイレンサー



本木パネル



ドアトリム



カーテンシールドエアバッグ袋体



デッキボード



ドアシールド



トノカバー

その他
天井材、ピラーガーニッシュおよび
上記を使用した内装システム製品 など

部品



フェンダーライナー



バンパ



インテークマニホールド



回転センサー

その他
イグニッションコイル、
タイミングベルトカバー、
ABSコイル など

繊維関連

紡績

混紡糸

編織

綿化合繊編・織物、二次製品

連結決算

連結貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	35,794	流動負債	32,698
現金預金	5,886	支払手形及び買掛金	17,592
受取手形及び売掛金	19,309	短期借入金	4,923
有価証券	3,219	一年内返済の長期借入金	1,251
たな卸資産	3,926	未払法人税等	2,052
繰延税金資産	1,538	未払費用	5,445
その他の流動資産	2,025	その他の流動負債	1,431
貸倒引当金	111		
固定資産	35,638	固定負債	7,165
有形固定資産	30,450	長期借入金	3,136
建物及び構築物	10,873	退職給付引当金	3,078
機械装置及び運搬具	11,841	役員退職慰労引当金	658
工具器具備品	3,354	その他の固定負債	291
土地	2,953	負債計	39,864
建設仮勘定	1,426		
無形固定資産	638	(少数株主持分)	
連結調整勘定	439	少数株主持分	2,173
その他	199		
投資その他の資産	4,549	(資本の部)	
投資有価証券	2,880	資本金	4,933
その他の投資その他の資産	1,669	資本剰余金	2,797
		利益剰余金	21,578
		その他有価証券評価差額金	959
		為替換算調整勘定	467
		自己株式	405
		資本計	29,396
合計	71,433	合計	71,433

連結損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	118,553
売上原価	106,301
売上総利益	12,252
販売費及び一般管理費	6,920
営業利益	5,331
営業外収益	421
営業外費用	438
経常利益	5,314
税金等調整前当期純利益	5,314
法人税、住民税及び事業税	3,131
法人税等調整額	860
少数株主利益(減算)	205
当期純利益	2,839

連結キャッシュ・フロー計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	315
現金及び現金同等物の増加(減少)額	1,675
現金及び現金同等物の期首残高	10,781
現金及び現金同等物の期末残高	9,105

単独決算

貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	31,519	流動負債	26,011
現金預金	4,432	支払手形	293
受取手形	278	買掛金	15,757
売掛金	18,199	1年内返済の長期借入金	1,250
有価証券	2,687	未払金	1,700
製成品	893	未払法人税等	1,988
原材料	641	未払費用	4,932
仕掛品	887	その他の流動負債	88
貯蔵品	263	固定負債	7,053
繰延税金資産	1,472	長期借入金	3,125
短期貸付金	319	退職給付引当金	3,062
未収入金	1,457	役員退職慰労引当金	651
その他の流動資産	100	預り保証金	215
貸倒引当金	113	負債計	33,064
固定資産	31,200	(資本の部)	
有形固定資産	22,122	資本金	4,933
建築物	8,023	資本剰余金	2,797
構築物	539	資本準備金	2,797
機械装置	7,578	利益剰余金	21,370
車両運搬具	118	利益準備金	1,252
工具器具備品	3,206	任意積立金	16,730
土地	2,603	特別償却準備金	40
建設仮勘定	51	固定資産圧縮積立金	619
無形固定資産	22	別途積立金	16,070
施設利用権	22	当期末処分利益	3,388
投資その他の資産	9,055	株式等評価差額金	959
投資有価証券	2,881	自己株式	405
子会社株式・出資金	4,566	資本計	29,655
出資金	381		
長期貸付金	14		
長期前払費用	18		
繰延税金資産	1,002		
その他の投資	202		
貸倒引当金	12		
合計	62,720	合計	62,720

(注)有形固定資産の減価償却累計額

54,974百万円

損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	104,901
売上原価	93,873
販売費及び一般管理費	6,161
営業利益	4,865
営業外収益	449
受取利息及び配当金	87
その他の営業外収益	361
営業外費用	355
支払利息	99
その他の営業外費用	255
経常利益	4,959
税引前当期純利益	4,959
法人税、住民税及び事業税	2,920
法人税等調整額	827
当期純利益	2,865
前期繰越利益	788
中間配当額	266
当期末処分利益	3,388

(注)1株当たりの当期純利益

41円47銭

利益処分

摘要	金額
当期末処分利益	3,388,220,046円
特別償却準備金取崩額	9,621,963
固定資産圧縮積立金取崩額	50,015,646
合計	3,447,857,655
これを下記のとおり処分いたします。	
株主配当金	332,870,305円
(1株につき5円)	
取締役賞与金	99,050,000
監査役賞与金	5,600,000
特別償却準備金	61,480,217
別途積立金	2,100,000,000
次期繰越利益	848,857,133

(注)平成15年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載された株主または登録質権者に対して、平成15年11月26日に1株につき4円、総額266,311,608円の中間配当を実施いたしました。

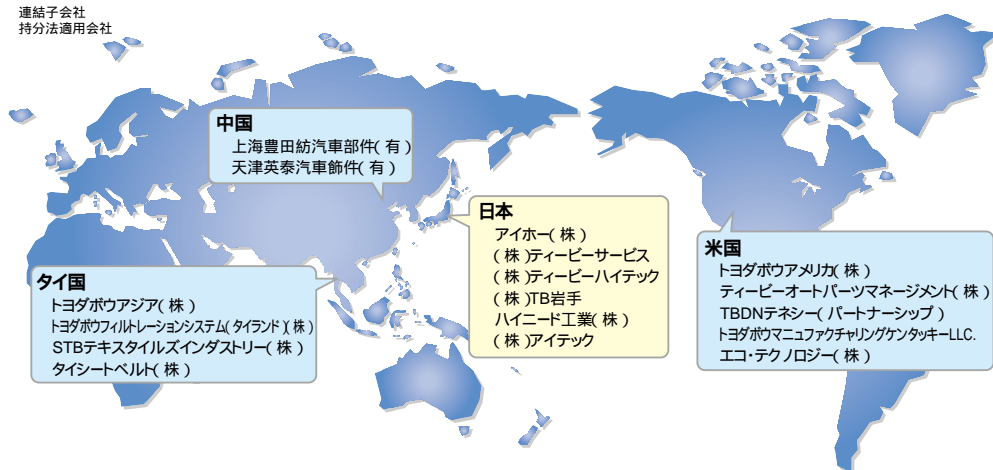
会社の概要

会社の概要(平成16年3月31日現在)

設立 昭和25年5月
資本金 4,933百万円
従業員数 2,006名
本社 愛知県刈谷市豊田町
1丁目1番地
営業所 東京、大阪
工場 刈谷、大口、木曾川、
尾西、豊橋、豊田、
田原(以上愛知県)、
岐阜

連結会社

連結子会社
持分法適用会社



株式の状況(平成16年3月31日現在)

- 1 株式の総数
発行する株式の総数 200,000,000 株
発行済株式の総数 67,174,338 株
- 2 株主数 4,871 名
- 3 大株主(上位10名)

株主名	株式数
東和不動産株式会社	18,346,209 株
トヨタ自動車株式会社	10,453,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,052,000
株式会社デンソー	3,992,000
豊田通商株式会社	3,545,000
株式会社豊田自動織機	3,500,000
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社	964,000
豊田紡織従業員持株会	843,947
三井住友海上火災保険株式会社	800,000
長谷虎紡績株式会社	750,000

役員(平成16年3月31日現在)

取締役社長	好川純一	取締役	田口喜夫
取締役副社長	中村浩之	取締役	飯田耕次
専務取締役	服部昌幸	取締役	小林伸行
専務取締役	土肥義彦	取締役	鈴木雅史
専務取締役	植田豊	取締役	上田広司
常務取締役	高村誠也	常勤監査役	山守則敏
常務取締役	澤崎忠昭	監査役	渡辺捷昭
常務取締役	村瀬英己	監査役	石川忠司
取締役	齋藤明彦	監査役	吉田勝博
取締役	古川晶章		
取締役	鈴木啓一		
取締役	栗谷本強		
取締役	渡辺俊充		
取締役	千石郁夫		

会計監査人 中央青山監査法人

株式事務のお取扱いについて

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当金支払株主確定日は9月30日であります。
基準日	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主(実質株主を含む)。 よって、その決算期に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
株式名義書換 名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 〒100-0005 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 < 03 > 5683-5111(代表)
取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料) < 0120 > 24-4479(本店証券代行部) < 0120 > 68-4479(大阪支店証券代行部) ホームページアドレス http://www.ufjtrustbank.co.jp/
公告掲載新聞	中日新聞、日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書は、当社のホームページ http://www.toyoda-boshoku.co.jp/japan/ir/bs_pl/ に掲載しております。
上場証券取引所	東京および名古屋の各証券取引所
本社所在地	愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 〒448-8651 電話 < 0566 > 23-6611(代表)

ホームページで最新情報をお知らせしています。
<http://www.toyoda-boshoku.co.jp/>

**TOYODA
BOSHOKU**
CORPORATION

r2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



本紙は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

お知らせ

- 平成16年4月1日より、**売買単位を1,000株から100株に変更しております。**なお、ご所有の株券が、100株券以外の場合、その株券が無効となるわけではありませんが、そのままでは100株単位の売買取引にご使用いただけませんので、株券保管振替制度をご利用になるか、または100株券へのお引換えをお勧めします。
- 平成16年10月1日より、当社は合併に際し商号を「トヨタ紡織株式会社」に変更いたします。ご所有株券の引換えのご案内は、平成16年9月30日頃にお届出のご住所宛にお送りいたしますので、お手続きくださいますようお願い申し上げます。
- ご不明な点は、UFJ信託銀行証券代行部(電話 < 03 > 5683-5111(代表))へお問合せください。